



2023年5月15日

各 位

会 社 名 株式会社焼肉坂井ホールディングス  
代表者名 代表取締役社長 阿久津 貴史  
( 東証スタンダード市場・コード番号 2694 )  
問合せ先 取締役管理本部長 山 下 淳  
( TEL. 052 - 910 - 1729 )

### 通期連結業績予想と実績との差異及び剰余金の配当に関するお知らせ

2022年5月16日に公表いたしました、2023年3月期通期（2022年4月1日～2023年3月31日）の連結業績予想と本日公表の実績に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

また、当社は、本日開催の取締役会において、2023年3月期における期末配当について下記のとおり決議いたしましたので、併せてお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 通期業績予想と実績との差異について

(1) 2023年3月期通期連結業績予想と実績値との差異（2022年4月1日～2023年3月31日）

(単位：百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 23,628	百万円 372	百万円 633	百万円 379	円 銭 1.61
実 績 値 (B)	23,055	△249	480	277	1.18
増 減 額 (B - A)	△572	△621	△152	△101	
増 減 率 (%)	△2.4	—	△24.1	△26.7	
(ご参考) 前期実績 (2022年3月期)	18,301	△1,945	999	460	1.96

#### (2) 差異の理由

当連結会計年度におきましては、昨年7月以降の第7波及び10月以降の第8波による新型コロナウイルス感染症の感染者数拡大による影響を受け、特に第3四半期累計期間までは、厳しい経営環境となっておりました。しかしながら、第4四半期会計期間に入り、新型コロナウイルス感染者数が減少傾向となったことに加えて、政府にて、マスク着用の個人判断や新型コロナウイルス感染症の分類の5類への移行、インバウンド対応としての入国制限の緩和・解除等の検討が開始されたこと等を受けて、徐々に売上高がコロナ前の水準に戻り始めたことから、当初計画の修正を様子見としておりました。

結果、売上高は当初計画にこそ届かないものの堅調な回復が見られましたが、原材料の高騰及びエネルギーコストの高騰等のコスト増が利益率に与えた影響を回収するまでには至らず、前回予想を下回り、売上高230億55百万円、営業損失2億49百万円、経常利益4億80百万円、親会社に帰属する当期純利益2億77百万円の実績となりました。

## 2. 剰余金の配当について

### (1) 剰余金の配当の内容

	決定額	直近の配当予想 (2023年2月14日)	前期実績 (2022年3月期期末)
基準日	2023年3月31日	同左	2022年3月31日
1株当たり配当金	0円50銭	未定	0円50銭
配当金の総額	117百万円	—	117百万円
効力発生日(予定)	2023年6月28日	—	2022年6月29日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

### (ご参考) 年間配当の内訳

基準日	1株当たり配当金		
	第2四半期末	期末	合計
当期実績	0円00銭	0円50銭	0円50銭
前期実績 (2022年3月期)	0円00銭	0円50銭	0円50銭

### (2) 剰余金の配当の理由

当社は、将来の事業拡大に備え、内部留保による企業体質の強化を図りながら、安定した配当を維持していくことを基本方針としております。

2023年3月期末における配当予想につきましては、2023年2月14日公表の「2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」にて事業環境の先行きが不透明であることから未定としておりましたが、上記の配当方針のもと、当期の業績動向及び財務状況等を勘案し、期末配当を1株当たり0.5円に決定いたしました。

以上